

The background of the entire page is a light blue and white bokeh pattern with various sized circles in shades of blue, pink, and orange. The text "FunBlo!" is centered in the upper half of the image.

FunBlo!

【 常時 SSL 設定 】

【著作権について】

本教材は著作権法で保護されている著作物です。

使用に関して、以下の点にご注意ください。

■本教材の著作権は、著者であるあか子にあります。

著作権者の許可なく、本教材の一部、または全部をインターネット上に公開すること、およびオークションサイトなどで転売することを固く禁じます。

■本教材の一部、または全部をあらゆる手段（印刷物、電子ファイル、ビデオ、DVD、およびその他電子メディアなど）により複製、流用および転載することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

本教材に書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

◆ はじめに

このレポートでは、ブログを SSL 化する方法を説明しています。

ブログの SSL 化は、新しくブログを作る時はもちろん、すでにブログを運営している方も注意が必要です。

SSL 化とは

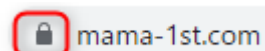
SSL は Secure Sockets Layer の略で、インターネット上の通信を暗号化する技術のこと。

第三者によって悪いことをされるのを防ぐため、本来はクレジットカードの決済ページなど個人情報を入力するページで導入されていたものですが、Google が検索順位を決定する要素として発表したことから、今ではあらゆる WEB サイトで常時 SSL 化がすすめられています。

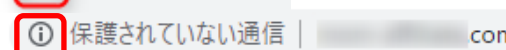
URL の冒頭が「http://」ではなく「https://」で始まっていると、SSL 化されたサイトと判断できます。

また、サイトに訪問した際に URL の前にマークが出ます。

SSL 化されているサイトの場合



SSL 化されていないサイトの場合



※ブラウザの種類によって表示は変わります。

訪問してくれた読者に不安を与えるますよね(>_<)

そもそも Google は SSL 化されたサイトを優先的に検索結果に上位表示させると発表していますので、必ず SSL 化の設定をしていきましょう。

エックスサーバーでは簡単に無料で SSL 化できますので、さっそく手順を説明していきますね。

STEP01：エックスサーバーで SSL 設定をする

ではさっそく、エックスサーバーにログインします。



インフォパネル ログイン

お客様のご登録情報の確認、変更、ご利用期限の確認等を行うための管理システムです。

会員IDまたはメールアドレス	<input type="text" value="pxx12345 または登録メールアドレス"/>
インフォパネルパスワード	<input type="password"/>

ログイン

※パスワードを忘れてしまった方は[こちら](#)

ログインしたら、今度は「サーバー管理」をクリックして、サーバーパネルにログインをします。

ご契約一覧



↓ [サーバー](#) ↓ [ドメイン](#) ↓ [SSL証明書](#)

サーバー

サービス	サーバーID	契約	プラン	サーバー番号	利用期限	操作メニュー
XSERVER	bihacks	通常	X10	sv6023	2020年04月30日	サーバー管理 ファイル管理

最初にログインする「インフォパネル」と、次にログインする「サーバーパネル」は ID とパスワードが違います。ご注意ください。

「SSL 設定」をクリックします。

 アカウント Account	 メール Mail	 ドメイン Domain
<ul style="list-style-type: none">✧ パスワード変更✧ サーバー情報✧ バックアップ✧ Cron設定✧ SSH設定	<ul style="list-style-type: none">✧ メールアカウント設定✧ 迷惑メール設定✧ 自動応答設定✧ SMTP認証の国外アクセス制限設定✧ メールの振り分け✧ メーリングリスト・メールマガジン	<ul style="list-style-type: none">✧ ドメイン設定✧ サブドメイン設定✧ DNSレコード設定✧ SSL設定✧ 動作確認URL
 ホームページ Homepage	 FTP File Transfer	 アクセス解析 Access analysis
<ul style="list-style-type: none">✧ アクセス制限✧ エラーページ設定✧ MIME設定✧ .htaccess編集✧ サイト転送設定✧ アクセス拒否設定✧ CGIツール✧ 簡単インストール✧ Webフォント設定	<ul style="list-style-type: none">✧ FTPアカウント設定✧ FTP制限設定	<ul style="list-style-type: none">✧ アクセス解析✧ アクセスログ✧ エラーログ
	 データベース Database	 高速化 Speeding Up
	<ul style="list-style-type: none">✧ MySQL設定✧ MySQLバックアップ✧ phpmyadmin(MySQL5.7)	<ul style="list-style-type: none">✧ Xアクセラレータ✧ サーバーキャッシュ設定✧ ブラウザキャッシュ設定
	 PHP PHP	 セキュリティ Security
	<ul style="list-style-type: none">✧ PHP Ver.切替✧ php.ini設定	<ul style="list-style-type: none">✧ WAF設定
 WordPress WordPress		
<ul style="list-style-type: none">✧ WordPress簡単インストール✧ WordPress簡単移行✧ WordPressセキュリティ設定		

どのドメインを SSL 化するのか選択します。

ドメイン選択画面

SSLを設定するドメインを選択してください。

0-9 | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O | P | Q | R | S | T | U | V | W | X | Y | Z | 日本語

ドメイン名	独自SSL	
	0個	選択する

対象のドメインの列にある「選択する」をクリックします。

「独自 SSL 設定の追加」タブをクリックし、
「確認画面へ進む」をクリックします。

SSL設定一覧

独自SSL設定追加

設定対象ドメイン

.com

変更

サイト

www.a-taekwondo-a.com

https://.comに加え、
https://.comでもアクセスが可能です。

☐ CSR情報(SSL証明書申請情報)を入力する

戻る

確認画面へ進む

「追加する」をクリックします。

SSL設定一覧

独自SSL設定追加

設定対象ドメイン[a-taekwondo-a.com]

サイト

.com

戻る

追加する

「SSL 新規取得中です。」となり、1 分くらい経つと
「〇〇〇.com」に独自 SSL 設定を追加しました。と表示されます。

SSL新規取得申請中です。しばらくお待ちください。
※処理には数分程度かかる場合があります。

SSL設定一覧

独自SSL設定追加

「.com」に独自SSL設定を追加しました。

ここまでで、SSL 設定は完了です。

ただ、現段階では「http://~」と「https://~」の両方の URL でサイトが表示される状態になっています。

まず、
「http://自分のドメイン」
「https://自分のドメイン」

両方でブログが表示されることを確認しましょう。

ただし、SSL 化には最大 1 時間かかるとされています。
反映されるまで「この接続ではプライバシーが保護されません」と表示されますが、慌てずに待ってみてくださいね。

確認できたら SSL 設定は成功です。
ただし、これでは「http://~」にアクセスされる可能性もあります。

特にブログ運営していて途中から SSL 化した場合、今インデックスされているのは「http://~」の URL ですので「https://~」に変えなくてはいいけませんね。

そのため、常時 SSL 化の設定をしていきます。
具体的に言うと、

「http://~」でサイトにアクセスされたときに、
「https://~」へ自動的に切り替わる設定をします。

STEP02：常時 SSL 化をする

① Wordpress の URL を SSL 設定にする

常時 SSL 化するブログの WordPress 管理画面にログインします。

インストール済みWordPress一覧 WordPressインストール

WordPressのインストールが完了しました。


※以下の情報はWordPressの管理画面へのログインや編集に必要な情報です。必ずメモなどにお控えください。

バージョン	WordPress 5.2
サイトURL	http://ekamone.com
ブログ名	ekamone
管理画面URL	http://ekamone.com/wp-admin/
ユーザー名	
パスワード	

※以下のMySQLデータベース、MySQLユーザーを作成しました。

MySQLデータベース名	
MySQLユーザー名	
MySQLパスワード	*****

戻る



ユーザー名またはメールアドレス

パスワード

☐ ログイン状態を保存する

ログイン

パスワードをお忘れですか？

ユーザー名とパスワードを入力して
「ログイン」をクリックします。

Wordpress にログインすると管理画面のダッシュボードが表示されます。



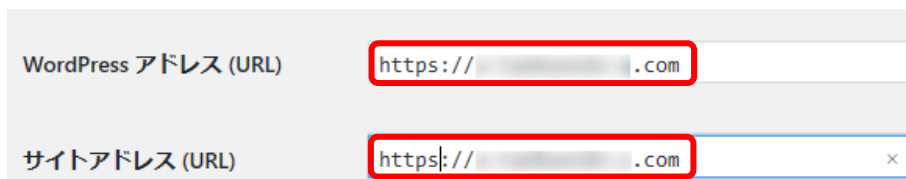
「設定」→「一般」をクリックします。



WordPress アドレス・サイトアドレスの URL が http://~で始まっていることを確認します。



ここを https://~ に変更します。



A screenshot of the WordPress settings page. Two input fields are visible: 'WordPress アドレス (URL)' and 'サイトアドレス (URL)'. Both fields contain the text 'https://' followed by a blurred domain name and '.com'. The 'https://' part of both fields is highlighted with a red rectangular box.

半角の「s」を付け足すだけで OK です。
※全角にしたり、スペースが入らないように注意してください。

入力したら、ページの下方にある「変更を保存」をクリックします。



変更を保存すると、Wordpress の管理画面からログアウトして、ログイン画面になります。

ログイン画面の URL も https://~から始まるものになっていると思います。今後は、https://~ から始まる URL でログインするようにしましょう。



https://ブログのドメイン/wp-login.php
https://ブログのドメイン/wp-admin

上記2つのどちらでもログインできます。

次は、「http://~」でサイトにアクセスされたときに、
「https://~」へ自動的に切り替わる設定をします。

② .htaccess に追記する

エックスサーバーにログインします。



インフォパネル ログイン

お客様のご登録情報の確認、変更、ご利用期限の確認等を行うための管理システムです。

会員IDまたはメールアドレス	<input type="text" value="pxx12345 または登録メールアドレス"/>
インフォパネルパスワード	<input type="password"/>
<input type="button" value="ログイン"/>	

※パスワードを忘れてしまった方は[こちら](#)

ログインしたら、今度は「サーバー管理」をクリックして、サーバーパネルにログインをします。



最初にログインする「インフォパネル」と、次にログインする「サーバーパネル」はIDとパスワードが違います。ご注意ください。

「.htaccess 編集」をクリックします。

アカウント Account	メール Mail	ドメイン Domain
✧ パスワード変更	✧ メールアカウント設定	✧ ドメイン設定
✧ サーバー情報	✧ 迷惑メール設定	✧ サブドメイン設定
✧ バックアップ	✧ 自動応答設定	✧ DNSレコード設定
✧ Cron設定	✧ SMTP認証の国外アクセス制限設定	✧ SSL設定
✧ SSH設定	✧ メールの振り分け	✧ 動作確認URL
	✧ メーリングリスト・メールマガジン	
ホームページ Homepage	FTP File Transfer	アクセス解析 Access analysis
✧ アクセス制限	✧ FTPアカウント設定	✧ アクセス解析
✧ エラーページ設定	✧ FTP制限設定	✧ アクセスログ
✧ MIME設定		✧ エラーログ
✧ .htaccess編集	データベース Database	高速化 Speeding Up
✧ サイト転送設定	✧ MySQL設定	✧ Xアクセラレータ
✧ アクセス拒否設定	✧ MySQLバックアップ	✧ サーバーキャッシュ設定
✧ CGIツール	✧ phpmyadmin(MySQL5.7)	✧ ブラウザキャッシュ設定
✧ 簡単インストール	PHP PHP	セキュリティ Security
✧ Webフォント設定	✧ PHP Ver.切替	✧ WAF設定
WordPress WordPress	✧ php.ini設定	
✧ WordPress簡単インストール		
✧ WordPress簡単移行		
✧ WordPressセキュリティ設定		

常時 SSL 化するドメインを選択します。

ドメイン選択画面

WordPressをインストールするドメインを選択してください。

0-9 | [A](#) | [B](#) | [C](#) | [D](#) | [E](#) | [F](#) | [G](#) | [H](#) | [I](#) | [J](#) | [K](#) | [L](#) | [M](#) | [N](#) | [O](#) | [P](#) | [Q](#) | [R](#) | [S](#) | [T](#) | [U](#) | [V](#) | [W](#) | [X](#) | [Y](#) | [Z](#) | [日本語](#)

ドメイン名	
	選択する
	選択する
	選択する
	選択する
	選択する
ekamone.com	選択する

対象のドメインの列にある「選択する」をクリックします。

「.htaccess 編集」のタブをクリックします。

.htaccess編集

.htaccessの編集が行えます。

使用前のご注意 **.htaccess編集**

設定対象ドメイン .com

.htaccess はサイトの表示に大きく関わる大切な情報のため、編集する前にメモ帳にコピペして保存しておきましょう。

使用前のご注意 **.htaccess編集**

設定対象ドメイン .com

編集対象 /home/ /public_html/.htaccess

```
# BEGIN WordPress
<IfModule mod_rewrite.c>
  RewriteEngine On
  RewriteBase /
  RewriteRule ^index%.php$ - [L]
  RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-f
  RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-d
  RewriteRule ^/index.php [L]
</IfModule>
# END WordPress
```

htaccess.txt - Xモック

ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

```
SetEnvIf Request_URI ".*" Ngx_Cache_NoCacheMode=of
SetEnvIf Request_URI ".*" Ngx_Cache_StaticMode

# BEGIN WordPress
<IfModule mod_rewrite.c>
  RewriteEngine On
  RewriteBase /
  RewriteRule ^index%.php$ - [L]
  RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-f
  RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-d
  RewriteRule ^/index.php [L]
</IfModule>
# END WordPress
```

バックアップを保存できたら、さっそく.htaccess を編集します。
エックスサーバーのマニュアルにある記述をコピーします。

↓ ↓

https://www.xserver.ne.jp/manual/man_server_fullssl.php

Webサイトの常時SSL化

独自SSLの設定が完了した時点では、自動的に「https://～」のURLへ転送されません。

Webサイトにおけるすべての表示を常時SSL化する場合は、「[.htaccess編集](#)」で以下の記述を追加します。

```
RewriteEngine On
RewriteCond %{HTTPS} !on
RewriteRule ^(.*)$ https://%{HTTP_HOST}%{REQUEST_URI} [R=301,L]
```

赤枠で囲ったソースを全文コピーしたら、
エックスサーバーの.htaccess 編集画面に戻ります。

.htaccess 編集画面の1番上の行をクリックして、2回 Enter を押し、
2行の空行をつくります。

```
SetEnvIf Request_URI ".*" Ngx_Cache_NoCacheMode=off
SetEnvIf Request_URI ".*" Ngx_Cache_StaticMode

# BEGIN WordPress
<IfModule mod_rewrite.c>
RewriteEngine On
RewriteBase /
RewriteRule ^index%.php$ - [L]
RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-f
RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-d
RewriteRule . /index.php [L]
</IfModule>
# END WordPress
```

1 行目にカーソルを置き、右クリック→貼り付けをします。

```
RewriteEngine On
RewriteCond %{HTTPS} !on
RewriteRule ^(.*)$ https://%{HTTP_HOST}%{REQUEST_URI} [R=301,L]

SetEnvIf Request_URI ".*" Ngx_Cache_NoCacheMode=off
SetEnvIf Request_URI ".*" Ngx_Cache_StaticMode

# BEGIN WordPress
<IfModule mod_rewrite.c>
RewriteEngine On
RewriteBase /
RewriteRule ^index%.php$ - [L]
RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-f
RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-d
RewriteRule . /index.php [L]
</IfModule>
# END WordPress
```

```
RewriteEngine On
RewriteCond %{HTTPS} !on
RewriteRule ^(.*)$ https://%{HTTP_HOST}%{REQUEST_URI} [R=301,L]
```

足した 3 行

←

```
SetEnvIf Request_URI ".*" Ngx_Cache_NoCacheMode=off
SetEnvIf Request_URI ".*" Ngx_Cache_StaticMode

# BEGIN WordPress
<IfModule mod_rewrite.c>
RewriteEngine On
RewriteBase /
RewriteRule ^index%.php$ - [L]
RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-f
RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-d
RewriteRule . /index.php [L]
</IfModule>
# END WordPress
```

空の 1 行

貼り付けるとこうなっています。

使用前のご注意

.htaccess編集

■ 設定対象ドメイン

変更

編集対象

/home/example.com/public_html/.htaccess

.htaccess

```
RewriteEngine On
RewriteCond %{HTTPS} !on
RewriteRule ^(.*)$ https://%{HTTP_HOST}%{REQUEST_URI} [R=301,L]

SetEnvIf Request_URI ".*" Ngx_Cache_NoCacheMode=off
SetEnvIf Request_URI ".*" Ngx_Cache_StaticMode

# BEGIN WordPress
<IfModule mod_rewrite.c>
RewriteEngine On
RewriteBase /
RewriteRule ^index%.php$ - [L]
RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-f
RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-d
RewriteRule . /index.php [L]
</IfModule>
# END WordPress
```

確認画面へ進む

同じようになっていれば「確認画面へ進む」をクリックし、「実行する」をクリックして完了です。

実行する

「http://ブログのドメイン」にアクセスしてみて、
「https:// ブログのドメイン」へ自動的に切り替われば成功です。

おつかれさまでした(#^^#)